

令和7年度第5回大学運営連絡会議事要旨

日 時	令和8年1月20日（火）10時30分～11時34分
場 所	Web会議
出席者	学長、大島理事、鯉川理事、青木理事、野口理事、田中理事・事務局長、西郡副学長、坂本副学長、大川内監事、羽石経済学部長、副島医学部長、鈴木農学部長、小野教育学部長、中村芸術地域デザイン学部長、佐藤理工学部長、中村教育開発推進センター長・附属図書館長
欠席者	後藤生物資源教育研究センター長
陪席者	荒木学長補佐、徳田学長補佐、田中学長補佐、山田学長補佐、山津学長補佐、光武学長補佐、辻田学長補佐、阪本学長補佐

○議事に先立ち、学長から、令和7年度第4回大学運営連絡会議事要旨について確認依頼後、修正意見はなかったため、確定した旨報告があった。

【 報告・連絡事項 】

（1）令和7年度第2回安否報告訓練結果について

大島理事から、令和7年度第2回安否報告訓練結果についての報告があった。前回訓練時と比較して、教職員及び学生とも回答率が微増した旨の説明があった。また、低い回答率の原因及び回答率を向上させるための対策について説明があった。

（2）THE世界大学ランキング2026の結果について

田中IR室長から、THE世界大学ランキングにおける世界順位及び国内順位が発表された旨、教育、研究等の高等教育で重要な5つの分野毎のスコア、年度比較及び他大学との比較、また、評価指標別のシミュレーションに基づく、佐賀大学の目標総合スコアについて説明があった。

（3）評価反映特別経費（業務の評価）に係るデータの現況について

田中IR室長から、令和8年度予算配分予定の評価反映特別経費に係るデータに関して、今年度の評価項目及び現時点までに収集されている結果及び前年度と比較した結果についての説明があった。

（4）令和7年度物価・人件費上昇等に対する支援について

大津財務課長から、令和7年度物価・人件費の上昇等に対して一定の支援を実施する旨、文部科学省から通知があったこと、あわせて令和7年度支援総額及び予算配分額について説明があった。

(5) 令和8年度国立大学法人佐賀大学運営費交付金予定額（政府案）等の概要について

大津財務課長から、文部科学省から提示があった令和8年度国立大学関係予算案の概要のうち、令和8年度予算案のポイント、本学の運営費交付金予定額の概要等についての説明があった。

次いで、徳永企画管理課長から、令和8年度施設整備費要求事項のうち、令和7年度補正予算において採択された3事業及び令和8年度当初予算において採択された1事業について説明があった。また、文部科学省から、理工学部7号館改修が令和7年度当初予算の追加事業として内示する旨の連絡があったため、資料を修正いただくよう説明があった。

(6) 経営努力認定に係る各学部・研究科等課程別学生収容定員充足率について

大津財務課長から、令和7年度における各学部・研究科等課程別学生収容定員充足率について、医学系研究科博士課程が定員未充足であるため、国庫返納となる見込みである旨の説明があった。

(7) I Rデータに基づく学内活動モニタリング

田中 I R 室長から、指摘事項1件として以下の報告があった。

- ・令和7年度後学期休講及び代替措置実施報告について、現状未報告が多く、特に教養教育及び芸術地域デザイン学部で多い状況である。各部局へ、定期試験実施前までの代替措置実施及び報告を行っていただくよう依頼があった。

また、気づき事項4件として以下の報告があった。

- ・大学の取組の成果及び情報発信（プレスリリース）について、12月末の時点で昨年度の累計を超えており、順調である。
- ・ポジティブ報道件数について、教育・研究の報道が前年同月と比較し200件ほど増加しており、非常に好調である。
- ・令和7年度就職内定率等状況調について、内定率が前年同月と比較し全体的に前年よりも低い状況となっている。
- ・学術交流協定校等との学生の相互交流数について、前年と比較すると教育学系、理工学系、農学系が増加している状況であり、特に農学系の受入数が急増している。一方で、経済学系、医学系は減少している状況である。

また、前回 I R データに基づく学内活動モニタリングにより抽出した課題「L P を活用したチューター修学指導率」について、小野教育学部長から説明があった。

(8) その他

特になし

以 上